

年頭のあいさつ

原点に立ち返り

新たな一歩を

市長 岡村 幸四郎



新年明けましておめでとうございませう。市民の皆様には、平成25年の清々しい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

昨年は、鳩ヶ谷市との合併の実を挙げることを念頭に、市民生活の安定に全力を傾注した一年でした。まずは合併の最大の眼目である行財政改革の効果を先取りし、70歳以上の高齢者の方への肺炎球菌ワクチン接種の助成、中学校3年生までの医療費の全額無料化を実現することができました。

また合併1周年を記念し11月に開催した「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」には、市内外から約18万人にも及ぶ観客にご来場いただき、新市の一体感の醸成、新たな郷土愛の育成

そして市のPRに大きな成果を得たところですが。

さらには、神根・赤山地域の優れた歴史と自然を活かした(仮称)赤山歴史自然公園及び福祉の最終形態としての(仮称)川口市火葬施設の整備、現在の市立高等学校3校を統合した新校の設立、市民サービスを向上させ地域防災拠点となる市役所新庁舎の建設という大規模プロジェクトも緒につきました。

これらは、ひとえに市民の皆様のご理解・ご協力の賜物と、改めまして心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年も厳しい財政状況が続くと予想されますが、こうした大規模プロジェクトの推進とともに、引き続き

市民生活の安定、中小企業の支援等にしっかりと取り組んで参ります。

また、本市をモデルとして全国に広がる、生活道路時速30^{km/h}規制「ゾーン30」の鳩ヶ谷地区での実施のため、警察との連携を強めて参ります。

そして、いよいよ本年は市制施行80周年の節目の年を迎えます。改めて原点に立ち返り「任んで良かった、合併して良かった」として「これからは住み続けたい」と誰もが思える市政運営に全力を尽くして参りますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

結びに、どうか新しい年が、市民の皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年となりますよう、心から祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

希望が芽生え

実(巳)を結ぶ一年に

議長 板橋 智之



新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず、3月市議会定例会におきまして、本市議会2つ目となる議員提案による政策条例「川口市歯科口腔保健の推進に関する条例」を可決、成立いたしました。この条例は、自分の歯を65歳で25本保持することを目指した本市独自の6525(老後ニコニコ)運動等を通じ、口腔の健康に努めることで、市民の生涯にわたる健康の保持及び増進に寄与することを目的としたものです。

また、一昨年の東日本大震災を教訓に、議会においては傍聴席を含め避難

用のヘルメットを配置し、議場での避難訓練を実施しました。いつ起こるか分からない災害に対する日々の備えの大切さを再認識するとともに、安全・安心なまちづくりに向け、様々な場面で議論を深めた一年でありました。

今、私たちを取り巻く社会環境は、人口減少社会の到来や高齢化の進行、地球環境問題への対応等、大きな転換期を迎えています。

地方自治体にとりましては、昨年9月に地方自治法が一部改正され、議会及び長が適切な権限を行使することなど、市が自ら決定し責任を負う姿勢がこれまで以上に求められております。二元代表制の一翼を担う議会としても、行財政基盤の強化と議会制度の改革、

政策立案能力を向上させる一方、市民の皆様のご意見を政策に反映させ、優しさで安らぎのあるまちづくりの実現に努めて参りたいと考えております。

新年を迎えるにあたり、私ども市議会には、市民の皆様のご期待と信頼に応えるべく、議員一丸となつて積極的な議員活動を展開し、今まで以上に議会の活性化に取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年、「我がまち川口」がさらに活気あふれる街となり、市民の皆様にとりまして明るい希望の光が芽生え、やがて実(巳)を結ぶ素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。